

授業科目	*小児看護学概論					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	樋口 由貴子						
授業概要	<p>小児看護の基盤となる子どもの成長・発達の特徴、および、小児看護の歴史や理念、倫理および子どもの権利を意識し擁護する看護の在り方について学ぶ。</p> <p>この講義は、実務家教員として病院での小児看護経験のある教員が、小児に対する看護経験を踏まえながら、子どもの成長・発達や現代社会の小児に対する看護の役割について講義する。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法	講義・ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 小児看護の歴史や理念、倫理について説明できる。(DP1-1) 2. 子どもの成長発達の一般原則を説明できる。(DP1-2) 3. 各発達段階（乳幼児期、学童思春期）での身体的特徴と心理・社会的变化を説明できる。(DP1-2) 4. 成長発達の評価方法を説明できる。(DP1-2) 5. 各発達段階での特徴と子どもの健康生活のあり方を説明できる。(DP1-2) 6. 子どもの権利について理解し、権利擁護と看護について説明できる。(DP1-1)
理想的レベル	目標1~6を達成した上で小児看護の在り方を詳細に説明できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト	30%	
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU21308J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題（予習・復習）

1回の目安時間（時間）

予習：授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく

復習：本日の授業内容を振り返る

4

授業計画

第1回	テーマ：子どもの看護について 子どもの看護に関する歴史、理念、倫理について解説する。
第2回	テーマ：小児の成長発達について 発達の概念、およびライフサイクルの視点から小児各期の特性の概略を解説する。
第3回	テーマ：成長発達の評価 成長発達に用いられる評価方法について解説する。

第 4 回	テーマ：各発達段階の特徴と健康生活 1 乳児期の成長発達（身体的特徴）と健康生活について解説する。
第 5 回	テーマ：各発達段階の特徴と健康生活 2 幼児期の成長発達（身体的特徴）と健康生活について解説する。
第 6 回	テーマ：各発達段階の特徴と健康生活 3 乳幼児期の成長発達（心理・社会的発達）と健康生活について解説する。
第 7 回	テーマ：各発達段階の特徴と健康生活 4 学童・思春期の成長発達と健康生活について解説する。
第 8 回	テーマ：子どもの権利と看護の役割/まとめ 子どもの権利とそれを擁護する看護の役割についても解説し、課題を考える。
テキスト	奈良間美保他：小児看護学 1 小児看護学概論 小児臨床看護総論 第 14 版 医学書院、2024
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・中野綾美編：ナーシング・グラフィカ 小児看護学 1 小児の発達と看護、メイカ出版、2023 ・筒井真優美監修：小児看護学 第 8 版、日総研、2019 ・二宮啓子、今野美紀編：小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第 4 版、南江堂、2022 ・小林京子・高橋孝雄：小児看護学概論／小児保健、メディカルフレンド社、2022 <p>この他、追加文献については授業中に提示します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	レポートのテーマは授業中に指示し、提出された内容については全体を通してコメントします。
学生へのメッセージ・コメント	子どもの身体・心理・社会面での理解を進めるために、1年次及び2年前期に学習する看護形態機能学の基礎知識や心理学・発達心理学、看護倫理等の知識を応用していきます。 日頃子どもと接することの少ない皆さんにとって、教科書だけでは理解しにくい子どもの姿があると思います。授業と並行して、メディアや町中などでも子どもに関心を持って観察をして下さい。この講義は 8 回です。スケジュールは後日お知らせします。